

令和3年5月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和3年5月11日(火) 9時30分～10時55分
- 2 場 所 高原町中央公民館 2階第2会議室
- 3 議事日程
- 第1 議事録署名委員の指名
 - 第2 教育長報告
 - 第3 議 事
 - 報告第15号 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
 - 議案第4号 高原町学校規模適正化基本方針について
 - 第4 その他
- 3 出席委員
- | | | | |
|------|-------|------|--|
| 教育長 | 西田次良 | | |
| 教育委員 | 有水りえ子 | 福丸幸治 | |
| | 後藤良文 | 温谷一浩 | |
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局
- | | | | |
|----------|-------|-----|------|
| 教育総務課 | | | |
| 課長 | 末永恵治 | 対策監 | 武田透 |
| 課長補佐 | 中別府和也 | 係長 | 山下浩樹 |
| 会計年度任用職員 | 山村凱斗 | | |

6 会議内容 ◎開 会

9時30分

【1 開会】

西田教育長 開会を宣告する。

【2 議事録署名委員の指名】

西田教育長 議事録の署名人に、西田教育長と後藤委員を指名する。

【3 教育委員会の現況報告】

西田教育長 5月に入り、コロナ感染の状況が再び深刻になってきた。昨年のこの時期は学校が臨時休業となり、大変対応が慌ただしくあったが、今年度は感染状況が気になりながらも学校は順調にスタートしたところであった。その他の行事についても報告事項のとおり、ほぼ実施が出来ている状況である。

学校教育の方は昨年度色々と進まなかったものがあったが、4月15日に町の教育研究所の委嘱状交付式が実施でき、各学校から推薦された6名の研究員によって研究が開始された。今年度は一人ひとりに寄り添った「分かる・できる授業」というテーマの下で、特にICTの活

用について授業方法の研究を行っていく。月に1、2回の研究会、研究所だよりを発行していく計画である。それから一貫教育については、昨年度は足踏み状態であったが、4月21日には1回目の研修会がスタートした。ただ今後のコロナの感染状況によっては分からないが、出来るだけ工夫しながら一貫教育は進めていくと考えている。オンライン等も使いながら進めていくことができたかと考えている。

それから社会教育の方であるが、昨年度はほとんど中止となっていた各団体の総会が開催された。4月23日はスポーツ少年団の結団式が行われ、11少年団が団員1名、指導者または保護者育成会に出席をいただいで結団式を行った。4月26日には、オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが行われ小林市内を走り、後川内中出身の温水英竜さんがランナーを務めた。小林駅前で後川内中学校の生徒が東雲太鼓で応援を盛り上げてくれた。応援に駆けつけてくれた観客の方々が、ランナーが通過した後も最後まで観覧していただき、大きな拍手をしていただいた。

5月6日に県ゲートボール選手権で優勝をした高原クラブが町長に表敬訪問にみえた。県内9地区24チームの頂点に立ち、全国大会は九州の補欠であるが九州大会は出場されるので今後の活躍が期待される。

その他で4月20日には管内の教育長会がズームで行われた。他にも県内などで集まるような会議などはオンライン会議になってきている。4月23日の県市町村教育委員会連合会・県町村教育長会については、私と有水委員が出席予定だったが、これもオンライン開催となった。各市町村と県教育委員会でのかなり人数の多い会議となった。その中で、「情報化の現状と今後の課題」という演題で鳴門教育大学の教授が講演をされ、非常に中身が濃い中で印象的なものがあり、「今後の教育の基礎は、読み書きそろばん、情報スキルである。」と言われていたし、「タブレットは文房具であり、ノートと鉛筆のような使い方をしてください。」と言われていた。文科省は、タブレットは家庭への持ち帰りが前提であるとしているが、本町ではまだそこまで進んでいないところである。また、二度と対面のみでの授業には戻さない、対面もありICTを使ったオンライン授業もあるハイブリット型に今後進めていくと言われていた。

コロナに関しては5月3日に対策本部を立ち上げて一度警戒レベルが3になった。宮崎市内は赤、その他はオレンジであったが、1週間後の9日には2回目の緊急事態宣言の発令となり県下全域が赤圏域となり、色々な制限がかかってきている。学校関係や学校関係に関わらず社会教育関係で制限がかかってくると思われる。連絡事項にもあるが5月22日の狭野小学校の運動会は半日短縮されて保護者のみの参加となって実施される。5月23日に行われる後川内小・中学校の合同運動会も狭野小学校と同じように実施される。高原小学校については、人数の関係もあり秋に延期ということになっている。

末永課長 (補足説明)

温谷委員 高原中学校の学校訪問の時間はまだ決まっていないのか。

武田対策監 コロナ関係があるので学校訪問は午前中までとして給食をいただいて終わりとなる。

後藤委員 少年団についてであるが、少子化に伴って少なくなっていると思われるが、団体のチーム数と種目が分かれば教えていただきたい。

末永課長 後藤委員の言われるようにチーム数も団員数も少なくなっている。資料については後程をお渡しする。結団式は指導者と主将1人が参加するという事になっている。

有水委員 今に関連して、指導者が外部指導者なのか、また学校の先生方は関わっているのか等、部活動の現状を知るために情報が欲しい。また、報告の時にその部分まで載せていただくと現状を知れるのでそのようにしてほしい。

末永課長 分かりました。

【4 議事】

《報告第15号 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について》

末永課長 (資料に基づき説明)

福丸委員 ワクチン接種の状況等、わかる範囲で良いので教えてほしい。

末永課長 昨日第24回高原町感染症対策本部会議が開かれ、その中でほほえみ館長から報告があった。75歳以上のワクチン接種が昨日から始まり、町内の町立病院、川井田医院、ふきやまクリニックの3病院で40人程の接種が終わったと報告を受けた。順次接種をしていく計画であり、菅総理から65歳以上のワクチン接種を7月末までに終わらせるように

命がきたようである。そうなると報告した1日当たりの人数では賄いきれないので集団接種も視野にいれないといけなくなると聞いている。先ほどの3病院が個別接種、そして集団接種となれば医療従事者、医療スタッフの確保がネックになってくる。医療スタッフ等の確保の目途がついたかは不明であるが、確保次第で7月末に終わるかどうか決まる。しかし、高原町の高齢者率が約4割とみて3,600人程を残り2か月で終了しなければならないとなると、1日辺りかなりの接種人数となる。たいへん厳しい数字なので国や県にスタッフの要望をしていくこととしていると聞いている。

温谷委員 対策本部のメンバーは誰が担当しているのか。

末永課長 町の対策本部は、町長を本部長として副本部長が副町長、教育長そして本部員として各課の課長、危機管理係、ほほえみ館の職員、必要に応じて消防署がメンバーとなっている。

《議案第4号 高原町学校規模適正化基本方針について》

末永課長 (資料に基づき説明)

福丸委員 前回に回覧でパブリックコメントの募集は、町外の方の意見は受付できないとあったが、今回町外の方の意見が出ている。どうして意見が提出されたのか。その理由について。

末永課長 意見の周知方法については区長会を通じて町民の方には周知を図っており、また保護者に関しては学校を通じて意見をいただくようにしている。この意見募集についてはホームページに掲載しており、誰でも閲覧できるので、意見は町民の方のみと記載されていますが、今回の町外の方は様式をダウンロードされて、ファックスで送ってきた。

福丸委員 このことについて返信はしないということで良いか。

末永課長 全般的に個別の回答はしない。高原町教育委員会としてご意見をいただいたので、区長会やホームページ等でこのような意見があり、これに対してはこのように対応するといった回答はお知らせしようとは考えている。

福丸委員 このような意見は、あるとは思いますが、これを町民の方等が読めばいい気持ちはしないのでどの様にするのか。また、今後このような意見が教育委員会に入った場合の対応は。

末永課長 町外の方の意見については、回答しない。

温谷委員 最終的に子供の意思を尊重して来られているということで良いか。

西田教育長 子どもを含めて保護者が住所を変更して正規の手続きをして転校・入学して来られるのでそれ以上はないということ。

末永課長 校区外通学は、家庭の事情や友人関係等の様々な事情があつてやむなく校区外に行きたいということで、関係市町で協議して条件を付けて正規の手続きを踏んで行っている。住所を移してくる以上は入学を認めざるをえない。

後藤委員 後川内の方の文章にあります、各家庭によっては子供の対応が仕事などの事情によって出来ないとありますが、子どもを預かる学童保育等の支援の対応は可能にならないか。

末永課長 学童保育については、今の時点でニーズが高まっている。その背景には核家族化が進み、両親が共働きで家に帰っても誰もいないという状況があるという事で、ニーズはかなり高い。今まで、並木保育園はサービスで卒園生を学童保育のように預かっていたがしなくなった。この学童保育の問題については、統合と一緒に考えていかないといけない問題と考えている。町当局と連携しながら検討していく。

後藤委員 後川内で学童保育の話を聞いたりしており、何とか良い方向にいくようお願いしたい。

有水委員 兄弟を持つ家庭で、下のお子さんは早く授業が終わり、上のお子さんは6時間まで授業がある時に、低学年の子が上の子を待つために、職員室の前に机を置いて上の子が終わるまで勉強させておいて帰る時間を合わせるという事を過去にしていたと思うが、学童保育の体制が整うまで、学校側で空き教室等を活用して一緒に下校できるように時

間調整をするなどの対策をとることが現状できるものなのか、少年団活動が開始されるまでの間、教室等で宿題を行うことを過去に実施していたと思うが、現状としてそのようなことができるのか。

武田対策監 学校に残って宿題や宅習をすることは基本的にできない。もし何か起きた場合、事故の対応や管理の面からできない。しかし、後川内の場合は学童がない等の事情も分かり人数も少ないという事で職員に理解を得ながら1、2時間程度音楽室を開放して実施している。学校の判断で行っている現状である。

温谷委員 広原小学校の場合は、今までを見ていると、祖父母がいる家庭がほとんどでそのような問題は聞いたことがない。高原小学校は人数が多いからそのような話が出てくると思うが、そのような話が出た時の対処の方法は。

武田対策監 高原小学校でそのような対処をするとは聞いていない。

末永課長 委員さんからの意見で学童保育の件が出たので、統合後の子どもたちのために学童保育の充実についての項目を入れた方が良いと思う。文科省も学童保育については推進しているので、その学校の状況を見ながら行っていけたらと考えている。

西田教育長 これに加えて学童保育についての考えを付け加えるという事であるが、いかがか。

有水委員 高原で子育てがしやすい町づくりを根底にすれば、学童保育に取り組み、子育てがしやすい環境をつくるためにはどうしても必要なことであると考え。これから、入学する子を持つ親は、低学年の間は不安があると思うし、町も積極的に学童支援をするという積極的な姿勢があった方が良いと思う。保育所などでもそのような受け入れの検討をしてくれたらと思う。なるべくその方向で検討していただきたいと思う。

西田教育長 パブリックコメントに加えて教育委員会の意見として学童保育の充実を求めるという事で項目の中に加える事でよろしいか。

(「異議なし」の声)

議案第4号 高原町学校規模適正化基本方針については、原案に学童保育の充実を求めることを追加し承認することに決定

【5 その他】

福丸委員 仲町の歩車分離式の信号機について、横断歩道の渡り方の学校への周知についてどのようになっているのか。中学生がスクランブル交差点のようにわたっていかれるので気になった。

末永課長 基本的には横断歩道を渡るようになっている。中学校にはそのような生徒がいたと注意喚起を行っていく。

福丸委員 仮に今後の事を考えて、スクランブル交差点のように斜めに渡ることは可能になるか。

武田対策監 スクールゾーン等は警察と協議して決めていて、警察との話し合いや看板の設置、交通量の関係等もあるので難しい。通学路の通学の仕方については、各地区で学校側も把握して交通安全教室も実施している。しかし、仲町の信号機の渡り方についてはまだ指導が出来ていない状況であると思うので今後学校側と協力して解決していく。

西田教育長 学校に伝えて指導していく。

福丸委員 声かけ事案について、パブリックコメントにも記載されていたように今後統合される施設等で子どもの登下校の安全を確保するために道路の整備等もしなければいけないが、最近では4月に声かけ事案があったと聞いている。そのような場合の対処は教えてはいると思うが、その場になると出来ないこともあるので、学校や警察との連携がどのようになったかの経過報告をしていただきたい。

武田対策監 4月の段階で3件程、情報が入っているが学校の方でまずは対応をしていただいて、学校から町教育委員会の方に連絡がきてその間に警察がどのような状況か聞き取りをして、不審者、声かけをした方の特

定もされている。そのような部分では連携はうまくできていると思っている。学校の方でもそのような事案が起こったら6学校の中でしっかりと情報交換をして、そのような指導がしやすいように情報提供している。

福丸委員 文化財について、最近の状況や発掘をされる方の人数や場所、募集しているのか等を教えてほしい。

山下係長 本年度は、後川内の西ノ原・板橋遺跡の発掘調査を行う予定である。時期的に6月の梅雨明けから本格的に行う予定で、3月までにお声がけをして44名の方が集まった。調査区の関係で調整しながら何人の方にやっていただくかを検討している。5月末に説明会をして6月からの雇用という事にしていこうと考えている。

福丸委員 各学校の校長先生が誰か、どのような顔なのか町民の方が分からない。校長先生の顔写真を載せていただいて町民の方に知っていただけるようにしてほしい。

末永課長 検討していく。肖像権があるので本人の確認を取って載せられるようであれば載せる形にしていく。

有水委員 せめて校長先生だけは学校の顔という事で顔写真などを載せてほしい。保護者等が誰に相談すればよいか確認するために。

西田教育長 検討していく。

温谷委員 不審者情報について町民の方が知るためにはどのようにすれば良いか。

末永課長 県の防災メールで確認できる。回覧等に記載されているQRコードを読み取っていただければダウンロードできる。警察が発出すれば情報が出る。閲覧場所は登録できるが、出ない不審者情報もあるがほとんどは情報がくる。

次回定例会は、

令和3年6月3日（火） 高原中学校学校訪問終了後の13時30分～

西田教育長 閉会を宣告する。

◎閉 会

10時55分

議事録署名委員

西田次良

後藤良文